

平成27年第1回大野城市議会 3月定例会代表質問通告

○本会議（2日目）代表質問

平成27年3月3日 午前9時30分（於 議 場）

| 会派名 | 議員氏名 | 件 名 |
|----------|-------|---|
| 新生倶楽部 | 永野 義人 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度施政方針について <ol style="list-style-type: none"> (1) (仮称) 大野城心のふるさと館について (2) 平成27年度予算編成について (3) 西鉄連続立体交差事業等について (4) 福岡都市圏南部最終処分場について 2. 政府が推進する地方創生事業について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市としてどのような取り組みができるのか |
| おおのじょう未来 | 浅田 大輝 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 財政フレームについて <ol style="list-style-type: none"> (1) 第5次大野城市総合計画後期基本計画の財政フレームにおける、積立金現在高について 2. 都市ブランド戦略について <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後進展する都市間競争を見据えて、本市においても早期の都市ブランド確立に向けた取り組みが必要と考えるが、市長の見解を伺いたい (2) 今後の財政需要の増大を考えると、生産年齢人口、特に若年世代及び子育て世代の人口割合の維持及び増加が重要と考える。他市の事例も参考にしながら、市外の若年世代及び子育て世代に向けた、本市への定住促進の取り組みを早期に実施すべきと考えるが、市長の見解を伺いたい 3. エビデンスベースト（科学的根拠）にもとづく政策判断及び政策評価について <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後さらなる財政需要の増大が予想される中では、政策・事業の費用対効果をさらに高めていく必要があり、「エビデンスにもとづく政策判断」という考え方はあらゆる行政機関において必要不可欠と考える。大学等の研究機関との連携をはかりながら、試行的に、科学的な評価分析を実施してはどうか、市長の見解を伺いたい |

| 会派名 | 議員氏名 | 件 名 |
|-----|------|---|
| | | <p>(2)多くのデータを正確に分析した上での政策立案を行える行政官が必要と考える。統計学の素養、データ解析等のスキルを習得できるような研修等を行っていくべきだと考えるが、人材育成の観点から市長の見解を伺いたい</p> |